

社会や企業の課題に対して 企業と大学が一緒に考える、 シームレスな関係を築く。

共立女子大学 ビジネス学部 准教授

大川 洋史 *Hirofumi Okawa*



2020年4月に開設される「ビジネス学部」では、企業との連携プロジェクトを学びの柱に位置付けています。その背景として、日本有数のビジネス街である丸の内や大手町に近いキャンパスという地の利を活かせること。ビジネスに必要となる主要4分野の学問や、リーダーシップ開発プログラムで身につけたスキルを実践する場を与え学修をより深化させること。そして、現場を体験させることによって就業や就職に対するリアリティショックを軽減させる狙いがあります。一方で、一般的な企業連携プログラムでは、学生のユニークな発想は期待されますが、商品化・サービス化に至らないことがほとんどです。それは、企業が個別に抱えている現実の課題に対して学生側が見えていないのが要因の一つだと考えています。そこで、私たちの行う企業連携プログラムでは、ビジネスの現場で実際に何が課題となっているのか、あるいは日本社会で何が問題となっているのかを共有いただくことで、学生たちはミクロ・マクロな視点で現実認識し、学修を応用しながらそれらを解決するための現実的なアイデアを見出すことを目的としています。実業界で働いている方々は、教科書を遥かに超えるマーケティング知識を持っており、大学側には社会科学のあらゆる分野に精通したスペシャリストがいます。これらを活かしながら、社会科学を通じたシームレスな関係を大学と企業で築き、社会や企業の課題について一緒に考えながら、ビジネスの第一線で活躍できる人材を育成していきます。

課題解決型授業

3・4年次のゼミナールを含む発展科目では都心の立地を活かした「企業連携」や「フィールドワーク」などを展開し、グループワークを通じてビジネスの現場のリアルな課題に取り組むことで、考え続ける力や実践的な経験から学ぶ姿勢を磨いていきます。

企業連携

リーダーシップ開発プログラム(LDP)および発展科目の一部では、趣旨に賛同する企業がビジネス上の課題を提示、学生がグループワークで解決案を競います。

フィールドワーク

丸の内や大手町に近いという地の利を活かし、各分野の代表的な企業を訪問して、業界の将来像を考えていきます。

(現代事情シリーズ)

現代経営事情

現代マーケティング事情

現代金融・会計事情

ゼミナール

「AI時代の金融」「新しい働き方を実現する組織研究」など、今後の社会を左右するテーマを、グループワークでディスカッションします。

「卒業してから」を、考え続ける学部。

東京の真ん中で、ビジネスを。

共立女子大学 ビジネス学部

2020年4月開設

〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋2-2-1 TEL:03-3237-1354 <http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/>